

国土交通省の予算決定概要に、困惑の中に強硬姿勢の区側 「新規箇所には着手しないこととする／今後の区間は120km」

「建設委員会傍聴記」

12月26日（日）午前9時から建設委員会が開催され、北小岩地区から提出の陳情18号が審査されました。冒頭、土木部から12月24日発表された国土交通省の来年度予算から、高規格堤防整備事業への取組みについて説明がありました。

それによると「① 堤防が決壊すれば十分な避難時間もなく、海面下の土地が浸水する区間 ② 堤防が決壊すれば建物密集地の建築物が2階まで浸水する区間 ③ 堤防が決壊すれば破壊力のある氾濫水により、沿川の建物密集地に被害が生じる区間、とし氾濫形態や地形等を考慮して区間を設定する」「また平成24年度予算での具体的な扱いは① 予算成立後の実施計画策定時に確定する ② 新規箇所には着手しない」となっていることを報告しました。



土木部 スーパー堤防の重点地点は江戸川下流の右岸と左岸、荒川下流の右岸と左岸、多摩川下流、淀川、大和川も同じだ。新規箇所には着手しないと、結果873kmが120kmとなり13・7%となる。北小岩、篠崎は新規であり、予算は厳しい。

新村委員（生活者ネット） 18班は？

土木部 北小岩、篠崎は新規とされ予算は厳しい。

新村委員 18班の実施計画はいつできるのか。

土木部 国に策定を要請したい。

小侯委員（共産） 予算がつかない中、江戸川区はどう実施していくのか。

土木部 スーパー堤防は街づくりとセットだ。予算は無くとも街側の段取りをする。25年度は予算を付けてもらえるよう努力する。

小侯委員 江戸川は上流部が危険と思う。変更するなら資料が欲しい。

土木部 区間が定まったのは前進だ。

スーパー堤防はやる、ということだ。スケジュール的には現実に沿って調整していく。

田島委員長（自民） では18号の審査に入る。

土木部 前回、北小岩のスーパー堤防計画の資料要求があり提出した。全長2・2km、幅250m、面積48haだ。住民意見交換会、個別相談会を度々、実施してきた。

新村委員 選択と集中という予算だ。北小岩地区の堤防が決壊する可能性は低はずだ。

土木部 超過洪水対策としてスーパー堤防がある。今回120kmがスーパー堤防になる。では北小岩をどうする、となると議論になる。条件の整った所から地域の皆さんと話し合っていく。

新村委員 上流こそ手を付けるべきだ。建設委員会で今回の東日本大震災で被害にあつた地を視察すべき、と提案したい。スーパー堤防が優先される地区は区内には他にある。

小侯委員 なぜ北小岩か、といえば液状化現象があつた。18班はその危険がなくなった。区では検証しないのか。

土木部 都が検証している。区は必要ないと思う。スーパー堤防は多くの住民がいて困難と思うが、やらねばならない。24年度予算に盛り込まれなかったのは残念だが、一気呵成とはいかない。

小侯委員 治水に名を借りた街壊しが18班。私たちは上流部と言っている。北小岩ではない。

委員長 本日は継続とする。

良識を
信じて

信じて

信じて

信じて

信じて

第七十三弾